



2025年度 とうきょうすくわくプログラム 星のおうち大崎

テーマ：色

本園で取り組んでいる「くぼたのうけん」でのカリキュラムを通して、色をテーマに取り組みました。

色の感覚を磨くには、できるだけたくさん色を見て、イメージを入れていくことが大切なので、まずは3原色から始め、「くぼたのうけん」では、「色を知る」ことは色の名前を言えることではなく、色の違いを見分けたり、色合いを身に付けられるようにすることなので、いろいろな活動を通して楽しみながら学んでいきました。

ねらい

- 身の回りの色に興味、関心を持つ。
- 色を通して様々な表現を楽しむ。
- 想像力や表現力を養い、育む。

保育者との関わり

保育者が色を伝えるのではなく、色の想像を含ませたり、固定概念でなく自由な発想へ導きます。

振り返り、気づき

色に対して興味を持つようになり、好きな色ははっきりし始め、お友だちと同じような色の服を着ていると「あっ、おなじ色だね」などと話す姿が見られるようになってきました。

<色の認知> (3色)

0歳児です。まずは、色を感覚で分かるようにし、できるだけたくさん色を見て、色の感覚を磨いていきます。



<色の認知> (カラーキューブ)

2歳児です。微妙な色の仲間分けをし、色彩感覚を養っていきます。



<ししゅう糸>

三原色から始め、色の認知をより複雑な色合いを見分け、色の名前だけでなく色合いを感じます。好きな色を集めたり、色の仲間分けをします。



<えのぐ> (0, 1歳児)

産休に入る保育者へのメッセージカードを作りました。同じ黄色でも微妙な色の違いのえのぐを使っの指スタンプです。



<おりがみ> (2歳児)

産休に入る保育者へのメッセージカードを作りました。「これは何色?」「ピンク!」「これは何色?」「ピンク。」「これは何色?」「ピンク・・・」「これは?」「ピンク?!」同じピンクでも微妙な色の違いに気づきました。



<えのぐあそび> (梱包材)

色を混ぜて変化を楽しんだり、梱包材の素材を感たりしながら少しずつ色がひろがって様子を楽しみました。



<えのぐあそび>

ハロウィンでの製作。

色を混ぜて変化を楽しみました。

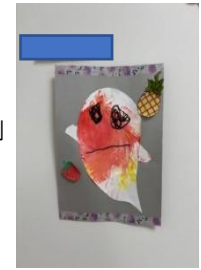
「いちごを食べたら何色になるかな？」

「パイナップルは？」 「キウイは？」

など会話も楽しみながらおぼけが

食べたもので体の色が混じりあう

イメージを膨らませ、変化を感じました。



<寒天あそび>

感触や混ざりあう色の変化を楽しみました。

中には、感触が苦手だったのか、泣き出してしま

いましたが、冷えた

寒天に「ちゅめたい」

と笑いながらグチャ

グチャにしていた姿が

印象的でした。



<ボディーペインティング>

体中えのぐだらけになり、皮膚感覚を養い、

赤、青、黄、緑、白が混ざることの変化を

楽しみました。



<カラーボール>

カラーボールで遊びながら、

色ごとに分けたり集めたりして

色の認識をしま

した。



<おはながみ>

お正月の凧製作。

好きな色を選び、重ねて

貼ることで色の濃淡を楽しみ

ました。

